

## 参考資料 1 / ニーズ調査結果の要約

### 【1】調査概要

◇本調査は、子育て支援に関する市民の生活実態やニーズ・意見等を把握し、次世代育成支援計画（後期計画／平成 22～26 年度）を策定するための基礎資料を得るとともに、子育て支援施策を総合的・計画的に推進することを目的として実施しました。本市では「就学前児童」「小学生児童」の保護者及び「中学生・高校生生徒」「中学生の保護者」の合計 4 種類のアンケート調査を実施しました。「就学前児童」「小学生児童」の保護者へのアンケート調査内容については、「国のモデル調査票」を踏まえ、それに本市独自の設問を加えて設計しています。

### 【2】調査設計

【調査地域】 浜田市全域

【調査対象】 ①未就学児童／市内に居住する 0 歳から小学校入学前までの子どもがいる家庭  
②小学生児童／市内に居住する小学生の子どもがいる家庭  
③中学生・高校生生徒／市内の中学校、高校の生徒  
④中学生の保護者／市内に居住する中学生の子どもがいる家庭

【標本数】 ①就学前児童／2,295  
②小学生児童／2,222  
③中学生・高校生生徒／2,444  
④中学生の保護者／1,432

【調査方法】 ①就学前児童／保育施設等を通じて配布・回収、在宅児は郵送配布・郵送回収  
②小学生児童／小学校を通じて配布・回収  
③中学生・高校生生徒／中学校・高校を通じて配布・回収  
④中学生の保護者／中学校を通じて配布・回収

【調査期間】 平成 21 年 1 月 30 日（金）～2 月 20 日（金）

### 【3】回収結果

	標本数(配布数)	有効回収数	有効回収率%
①就学前児童	2,295	1,860	81.0%
②小学生児童	2,222	1,999	90.0%
③中学生・高校生生徒	2,444	2,277	93.2%
④中学生の保護者	1,432	1,267	88.5%

## 【4】地区別回収結果

①就学前児童

②小学生児童

居住地区別有効回収数（上段：件数、下段：横100%構成比）

	サンプル数	浜田	金城	旭	弥栄	三隅	無回答
①就学前児童	1,860	1,448	131	74	31	157	19
	100.0	77.8	7.0	4.0	1.7	8.4	1.0
②小学校児童	1,999	1,550	139	63	48	188	11
	100.0	77.5	7.0	3.2	2.4	9.4	0.6

③中学生・高校生生徒

学校別有効回収数（上段：件数、下段：横100%構成比）

	サンプル数	第一中学校	第二中学校	第三中学校	第四中学校	浜田東中学校	金城中学校	旭中学校	弥栄中学校	三隅中学校
中学校	1,469	445	143	317	56	168	110	50	38	142
	100.0	30.3	9.7	21.6	3.8	11.4	7.5	3.4	2.6	9.7

	サンプル数	浜田高校	浜田商業高校	浜田水産高校
高校	808	446	273	89
	100.0	55.2	33.8	11.0

## 【5】資料の見方について

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入しています。従って回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合があります。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）です。全標本数ベースを示す「全体」を「N」、該当数ベースを「n」で表記しています。
- (4) 表では「無回答」は割愛しています。

## 調査結果（就学前児童、小学生児童／要約編）

### 【1】属性及び家族の状況

1. 子どもの人数	◇就学前児童、小学生児童ともに「2人」が最も多く、次いで就学前児童では「1人」、小学生児童では「3人」が続いています。																																																						
2. 家族の状況	◇就学前児童、小学生児童ともに「父母同居」が大半を占めていますが、「父子家庭」は就学前で1.0%、小学生児童2.2%、「母子家庭」はそれぞれ8.0%、10.6%で、小学生児童においてやや多くみられます。																																																						
3. 親族等からの支援の状況	<p>◇日常的、緊急時のいずれにおいても「祖父母等の親族」を中心とした支援が多くみられます。</p> <p>◇祖父母等に預かってもらうことについては、半数以上（小学生児童では6割以上）が「特に問題はない」としてはいますが、負担を心苦しく感じる保護者も比較的多くみられます。</p> <p style="text-align: center;">※表中の数値は全て%(パーセント)です(以下同様)。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">親族等からの支援の状況</th> <th style="text-align: center;">就学前児童(N=1860)</th> <th style="text-align: center;">小学生児童(N=1999)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常的に祖父母などの親族に預かってもらえる</td> <td style="text-align: center;">27.8</td> <td style="text-align: center;">38.2</td> </tr> <tr> <td>日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる</td> <td style="text-align: center;">2.3</td> <td style="text-align: center;">3.9</td> </tr> <tr> <td>緊急な時や用事の時には祖父母などの親族に預かってもらえる</td> <td style="text-align: center;">57.7</td> <td style="text-align: center;">48.6</td> </tr> <tr> <td>緊急な時や用事の時には預けられる友人・知人がいる</td> <td style="text-align: center;">7.8</td> <td style="text-align: center;">11.0</td> </tr> <tr> <td>預かってもらえる人はいない</td> <td style="text-align: center;">15.5</td> <td style="text-align: center;">13.3</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">祖父母に預かってもらっている状況</th> <th style="text-align: center;">就学前児童(n=1465)</th> <th style="text-align: center;">小学生児童(n=1594)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない</td> <td style="text-align: center;">51.2</td> <td style="text-align: center;">61.2</td> </tr> <tr> <td>祖父母の身体的な負担が心配である</td> <td style="text-align: center;">26.8</td> <td style="text-align: center;">20.6</td> </tr> <tr> <td>祖父母の時間的制約や精神的な負担が心配である</td> <td style="text-align: center;">30.2</td> <td style="text-align: center;">20.6</td> </tr> <tr> <td>親の立場として、負担をかけていることが心苦しい</td> <td style="text-align: center;">24.5</td> <td style="text-align: center;">22.0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: center;">5.2</td> <td style="text-align: center;">3.8</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">友人・知人に預かってもらっている状況</th> <th style="text-align: center;">就学前児童(n=173)</th> <th style="text-align: center;">小学生児童(n=1594)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>友人や知人に預かってもらうことについては、特に問題はない</td> <td style="text-align: center;">45.7</td> <td style="text-align: center;">48.5</td> </tr> <tr> <td>友人や知人の身体的な負担が心配である</td> <td style="text-align: center;">8.1</td> <td style="text-align: center;">5.9</td> </tr> <tr> <td>友人や知人の時間的制約や精神的な負担が心配である</td> <td style="text-align: center;">31.2</td> <td style="text-align: center;">29.3</td> </tr> <tr> <td>親の立場として、負担をかけていることが心苦しい</td> <td style="text-align: center;">24.9</td> <td style="text-align: center;">27.8</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: center;">6.4</td> <td style="text-align: center;">8.1</td> </tr> </tbody> </table>	親族等からの支援の状況	就学前児童(N=1860)	小学生児童(N=1999)	日常的に祖父母などの親族に預かってもらえる	27.8	38.2	日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	2.3	3.9	緊急な時や用事の時には祖父母などの親族に預かってもらえる	57.7	48.6	緊急な時や用事の時には預けられる友人・知人がいる	7.8	11.0	預かってもらえる人はいない	15.5	13.3	祖父母に預かってもらっている状況	就学前児童(n=1465)	小学生児童(n=1594)	祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない	51.2	61.2	祖父母の身体的な負担が心配である	26.8	20.6	祖父母の時間的制約や精神的な負担が心配である	30.2	20.6	親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	24.5	22.0	その他	5.2	3.8	友人・知人に預かってもらっている状況	就学前児童(n=173)	小学生児童(n=1594)	友人や知人に預かってもらうことについては、特に問題はない	45.7	48.5	友人や知人の身体的な負担が心配である	8.1	5.9	友人や知人の時間的制約や精神的な負担が心配である	31.2	29.3	親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	24.9	27.8	その他	6.4	8.1
親族等からの支援の状況	就学前児童(N=1860)	小学生児童(N=1999)																																																					
日常的に祖父母などの親族に預かってもらえる	27.8	38.2																																																					
日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	2.3	3.9																																																					
緊急な時や用事の時には祖父母などの親族に預かってもらえる	57.7	48.6																																																					
緊急な時や用事の時には預けられる友人・知人がいる	7.8	11.0																																																					
預かってもらえる人はいない	15.5	13.3																																																					
祖父母に預かってもらっている状況	就学前児童(n=1465)	小学生児童(n=1594)																																																					
祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない	51.2	61.2																																																					
祖父母の身体的な負担が心配である	26.8	20.6																																																					
祖父母の時間的制約や精神的な負担が心配である	30.2	20.6																																																					
親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	24.5	22.0																																																					
その他	5.2	3.8																																																					
友人・知人に預かってもらっている状況	就学前児童(n=173)	小学生児童(n=1594)																																																					
友人や知人に預かってもらうことについては、特に問題はない	45.7	48.5																																																					
友人や知人の身体的な負担が心配である	8.1	5.9																																																					
友人や知人の時間的制約や精神的な負担が心配である	31.2	29.3																																																					
親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	24.9	27.8																																																					
その他	6.4	8.1																																																					

### 【2】保護者の就労状況

1. 保護者の就労状況	◇就学前児童の母親の7割（※「就労している」の合計値）、小学生児童の母親の8割近くが現在就労しています（共働き世帯）。																																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">保護者の就労状況</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">就学前児童(N=1860)</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">小学生児童(N=1999)</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">父親(%)</th> <th style="text-align: center;">母親(%)</th> <th style="text-align: center;">父親(%)</th> <th style="text-align: center;">母親(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就労している(フルタイム)</td> <td style="text-align: center;">88.8</td> <td style="text-align: center;">36.7</td> <td style="text-align: center;">85.6</td> <td style="text-align: center;">42.8</td> </tr> <tr> <td>就労している(フルタイムだが育休・介護休業中)</td> <td style="text-align: center;">0.1</td> <td style="text-align: center;">5.5</td> <td style="text-align: center;">0.2</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> </tr> <tr> <td>就労している(パート・アルバイト等)</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td style="text-align: center;">28.1</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td style="text-align: center;">35.3</td> </tr> <tr> <td>以前は就労していたが、現在は就労していない</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> <td style="text-align: center;">24.9</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">14.9</td> </tr> <tr> <td>これまでに就労したことがない</td> <td style="text-align: center;">0.0</td> <td style="text-align: center;">2.6</td> <td style="text-align: center;">0.1</td> <td style="text-align: center;">2.8</td> </tr> <tr> <td>父親(母親)はいない</td> <td style="text-align: center;">8.0</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">10.7</td> <td style="text-align: center;">2.3</td> </tr> </tbody> </table>	保護者の就労状況	就学前児童(N=1860)		小学生児童(N=1999)		父親(%)	母親(%)	父親(%)	母親(%)	就労している(フルタイム)	88.8	36.7	85.6	42.8	就労している(フルタイムだが育休・介護休業中)	0.1	5.5	0.2	1.2	就労している(パート・アルバイト等)	0.8	28.1	0.8	35.3	以前は就労していたが、現在は就労していない	1.3	24.9	1.0	14.9	これまでに就労したことがない	0.0	2.6	0.1	2.8	父親(母親)はいない	8.0	1.0	10.7	2.3
保護者の就労状況	就学前児童(N=1860)		小学生児童(N=1999)																																					
	父親(%)	母親(%)	父親(%)	母親(%)																																				
就労している(フルタイム)	88.8	36.7	85.6	42.8																																				
就労している(フルタイムだが育休・介護休業中)	0.1	5.5	0.2	1.2																																				
就労している(パート・アルバイト等)	0.8	28.1	0.8	35.3																																				
以前は就労していたが、現在は就労していない	1.3	24.9	1.0	14.9																																				
これまでに就労したことがない	0.0	2.6	0.1	2.8																																				
父親(母親)はいない	8.0	1.0	10.7	2.3																																				

## 2. 母親の就労希望

◇現在パート・アルバイト就労の母親のうち、4割程度がフルタイムへの就労を希望しており、未就労の母親の大半が今後の就労を希望しています。特に未就労の母親では「パートタイム・アルバイト」への就労希望が多くみられます。

◇母親の未就労理由では、「働きながら子育てできる仕事がない」ことが主な理由ですが、「保育サービスが利用できれば働きたい」が就学前で2割近くみられます。

母親パート・アルバイト等／フルタイムへの就労予定	就学前児童(n=523)	小学生児童(n=705)
予定がある	7.1	5.5
希望はあるが予定はない	32.5	31.5
予定はない	35.9	40.1

母親未就労者／今後の就労希望	就学前児童(n=512)	小学生児童(n=352)
すぐにも又は1年以内には働きたい	30.9	32.7
子どもがある程度大きくなったら(1年より先)働きたい	56.4	44.6
働くつもりはない	9.2	19.6

母親未就労者／今後の就労希望形態	就学前児童(n=447)	小学生児童(n=352)
フルタイムで働きたい	21.3	19.5
パートタイム、アルバイト等で働きたい	74.7	77.9

母親未就労者／未就労理由	就学前児童(n=447)	小学生児童(n=352)
働きながら子育てできる仕事がない(少ない)から	42.1	36.8
保育サービスが利用できれば(充実すれば)働きたい	16.8	5.9
自分の知識や能力にあう仕事がないから	6.7	15.1
家族や親族の理解が得られないから	2.7	7.4
その他	44.7	44.1

## 3. 母親の出産前後の就労状況

◇母親の3割以上が、出産前後に「離職」しています。

◇仕事を辞めた状況については、「いずれにしても辞めていた」が半数近くを占めますが、「働き続けやすい環境」が整っていれば継続して就労していた母親も2割以上みられます。

出産前後に仕事を辞めた状況	就学前児童(n=447)
いずれにしても辞めていた	49.5
職場で育児休業制度など、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して働いていた	23.2
保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して働いていた	12.4
家族の考え方(親族の理解)等の働ける環境が整っていれば、継続して働いていた	4.2
保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して働いていた	3.9
その他	4.7

### 【3】就学前児童／保育サービスのニーズ

#### 1. 保育サービスの利用状況

◇就学前児童の大半(75.4%)が現在保育サービスを利用しており、そのうち「保育所(認可保育所)」が多数(85.5%)を占め、「幼稚園」は12.5%の利用となっています。

◇利用している理由は「現在働いているため」が大半を占め、「幼稚園」の場合は「子どもの教育のため」もみられます。

2. 保育サービス未利用理由	◇保育サービスを利用していない理由は「保護者が就労していないなどの理由で必要がないから」が最も多くなっています。
----------------	--

### 3. 保育サービスの利用希望

◇「保育所」に次いで「病児・病後児保育」への利用希望が目立ちます。

順位	今後利用したい保育サービス	就学前児童(N=1860)
1位	保育所(認可保育所)	32.6
2位	病児・病後児保育	23.7
3位	一時保育	9.0
4位	延長保育	8.7
5位	幼稚園の通常の就園時間	8.4
6位	ファミリーサポートセンター	6.8
7位	幼稚園の延長預かりサービス	6.7
8位	認定こども園(4時間以上)	4.6
9位	事業所内保育施設	1.7
10位	保育ママ	1.7
11位	ベビーシッター	1.7
12位	認定こども園	1.3
13位	認可外保育施設(無認可保育施設)	0.8
14位	その他の保育施設	0.5
	特に利用したいサービスはない	27.1

◇保育サービスを利用したい理由は、「現在働いている」「今後働く予定がある」など、主に就労に関する理由が多くみられます。

4. 土日・祝日等のサービス利用希望	◇土曜日の保育サービス利用希望者は過半数(54.8%)です。 ◇日曜日・祝日の利用希望者は2割(21.8%)です。
--------------------	--

### 【4】小学生児童／放課後児童クラブ・放課後児童居場所等のニーズ

1. 放課後児童クラブの利用状況	◇小学生児童の15.9%が現在「放課後児童クラブ(または放課後児童居場所)」を利用しています。利用者の大半が「平日」に、7割以上が長期休暇に利用しています。利用している理由は「現在働いているから」、利用していない理由は「利用条件にあてはまらないから(小学4～6年生のため)」「保護者等が家にいるから」が中心となっています。									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>放課後児童クラブ・居場所／利用状況(利用者ベース)</th> <th>小学生児童(n=317)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平日の利用</td> <td>95.3</td> </tr> <tr> <td>春休みの利用</td> <td>78.5</td> </tr> <tr> <td>夏休みの利用</td> <td>89.3</td> </tr> <tr> <td>冬休みの利用</td> <td>79.2</td> </tr> </tbody> </table>	放課後児童クラブ・居場所／利用状況(利用者ベース)	小学生児童(n=317)	平日の利用	95.3	春休みの利用	78.5	夏休みの利用	89.3	冬休みの利用
放課後児童クラブ・居場所／利用状況(利用者ベース)	小学生児童(n=317)									
平日の利用	95.3									
春休みの利用	78.5									
夏休みの利用	89.3									
冬休みの利用	79.2									

1. 放課後児童クラブの利用状況	<p>◇放課後児童クラブ（放課後児童居場所）に対しては「土曜日の開催」をはじめ、「学年の延長」「利用時間の延長」などが希望されています。</p> <table border="1" data-bbox="443 293 1428 622"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>放課後児童クラブ・居場所／希望内容(利用者ベース)</th> <th>小学生児童(n=317)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1位</td><td>土曜日でも開いてほしい</td><td>41.6</td></tr> <tr><td>2位</td><td>利用できる学年を延長してほしい</td><td>39.4</td></tr> <tr><td>3位</td><td>利用時間を延長してほしい</td><td>24.9</td></tr> <tr><td>4位</td><td>日曜日・祝日も開いてほしい</td><td>15.5</td></tr> <tr><td>5位</td><td>施設設備を改善してほしい</td><td>11.7</td></tr> <tr><td>6位</td><td>指導内容を工夫してほしい</td><td>7.9</td></tr> <tr><td></td><td>現在のままでよい</td><td>18.9</td></tr> <tr><td></td><td>その他</td><td>13.6</td></tr> </tbody> </table>	順位	放課後児童クラブ・居場所／希望内容(利用者ベース)	小学生児童(n=317)	1位	土曜日でも開いてほしい	41.6	2位	利用できる学年を延長してほしい	39.4	3位	利用時間を延長してほしい	24.9	4位	日曜日・祝日も開いてほしい	15.5	5位	施設設備を改善してほしい	11.7	6位	指導内容を工夫してほしい	7.9		現在のままでよい	18.9		その他	13.6
順位	放課後児童クラブ・居場所／希望内容(利用者ベース)	小学生児童(n=317)																										
1位	土曜日でも開いてほしい	41.6																										
2位	利用できる学年を延長してほしい	39.4																										
3位	利用時間を延長してほしい	24.9																										
4位	日曜日・祝日も開いてほしい	15.5																										
5位	施設設備を改善してほしい	11.7																										
6位	指導内容を工夫してほしい	7.9																										
	現在のままでよい	18.9																										
	その他	13.6																										
2. 放課後児童クラブの利用希望	<p>◇放課後児童クラブ（放課後児童居場所）の今後の利用希望は9.5%で、希望者のうち7割以上が「平日」を希望し、4割が「土曜日」を希望しています。希望理由はやはり「現在働いているから」「そのうち働きたいから」という就労希望が中心となっています。</p> <table border="1" data-bbox="470 842 1385 1099"> <thead> <tr> <th rowspan="2">放課後児童クラブ・居場所／今後の利用希望 (利用希望者ベース)</th> <th>利用希望</th> </tr> <tr> <th>小学生児童(n=157)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平日の利用希望</td><td>71.3</td></tr> <tr><td>土曜日の利用希望</td><td>41.4</td></tr> <tr><td>春休みの利用希望</td><td>59.9</td></tr> <tr><td>夏休みの利用希望</td><td>88.5</td></tr> <tr><td>冬休みの利用希望</td><td>56.7</td></tr> </tbody> </table>	放課後児童クラブ・居場所／今後の利用希望 (利用希望者ベース)	利用希望	小学生児童(n=157)	平日の利用希望	71.3	土曜日の利用希望	41.4	春休みの利用希望	59.9	夏休みの利用希望	88.5	冬休みの利用希望	56.7														
放課後児童クラブ・居場所／今後の利用希望 (利用希望者ベース)	利用希望																											
	小学生児童(n=157)																											
平日の利用希望	71.3																											
土曜日の利用希望	41.4																											
春休みの利用希望	59.9																											
夏休みの利用希望	88.5																											
冬休みの利用希望	56.7																											
3. 放課後子ども教室の利用ニーズ	<p>◇放課後児童クラブと連携して行う「放課後子ども教室」については、17.5%のニーズがみられました。</p>																											

<p>4. 小学校4年生以降の過ごし方について</p> <p>◇「クラブ活動や習い事などさせたい」が4割以上（43.2%）、「放課後児童クラブ」の利用希望が16.2%みられました。</p> <table border="1" data-bbox="323 1420 1235 1603"> <thead> <tr> <th>小学校4年生以降の過ごし方の希望</th> <th>小学生児童(N=1999)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>クラブ活動や習い事をさせたい</td><td>43.2</td></tr> <tr><td>放課後児童クラブを利用したい</td><td>16.2</td></tr> <tr><td>利用を希望するサービスは特にない</td><td>31.9</td></tr> <tr><td>その他</td><td>6.6</td></tr> </tbody> </table>	小学校4年生以降の過ごし方の希望	小学生児童(N=1999)	クラブ活動や習い事をさせたい	43.2	放課後児童クラブを利用したい	16.2	利用を希望するサービスは特にない	31.9	その他	6.6
小学校4年生以降の過ごし方の希望	小学生児童(N=1999)									
クラブ活動や習い事をさせたい	43.2									
放課後児童クラブを利用したい	16.2									
利用を希望するサービスは特にない	31.9									
その他	6.6									

### 【5】病児・病後児保育のニーズ

<p>◇就学前児童の7割以上（73.4%）、小学生児童の7割近く（66.7%）が、この1年で病気やケガで保育サービスが利用できなかったり、学校を休んでいます。</p> <p>◇その時は「母親が仕事を休んで」または「親族・知人に預けて」対応しているケースが目立ち、病気やケガの時に保育サービスを利用したいと思った日数については、「1～4日」が主流となっています。</p>
--

## 【6】一時預かりのニーズ

1. 一時的に子ども預けた場合の対応状況	◇就学前児童の4割（41.3%）が、この1年で保護者の病気、就労、買い物、会合等の理由で、家族以外の誰かに子どもを預けています。
2. 今後の希望	◇今後の一時預かりの希望者は、就学前児童で約3割（31.4%）みられます。
3. 宿泊を伴う場合	◇泊まりがけで子ども預けた経験は、就学前児童で17.0%、小学生児童で13.1%となっており、いずれも「親族・知人に預けた」ケースが主流となっています。「親族・知人に預けた」人の4割が、その「困難さ」を意識しています。

## 【7】ベビーシッターのニーズ

◇ベビーシッターの利用は、就学前児童で1件だけ回答がありました。現状においてニーズはほとんどありません。
--

## 【8】ファミリー・サポートセンターのニーズ

◇ファミリー・サポートセンターの利用は、就学前児童で1.7%、小学生児童で1.2%と現状では少ない状況にあります。
◇就学前児童の場合「祖父母や近所の人などに預かってもらえないとき」の利用が目立ちますが、「保育施設等の不足分を補う」目的でも利用されています。

ファミリーサポートセンターの利用目的	就学前児童(n=24)	小学生児童(n=24)
祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している	37.5	29.2
保育施設等(※1)の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)	16.7	8.3
保育施設等(※2)の送り迎えに利用している	8.3	8.3
親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している	0.0	4.2
その他	25.0	50.0

(※1)小学生は放課後児童クラブ等

(※2)小学生は塾等

◇一方、未利用者における今後の利用希望は、就学前児童で10.0%みられ、特に0～1歳児においてニーズは高くみられます。
---

ファミリーサポートセンター利用状況と利用希望	就学前児童(n=1836)	小学生児童(n=1958)
現在の利用(就学前N=1860、小学生N=1999)	1.7	1.2
未利用者の今後の利用希望(就学前n=1836、小学生n=1958)	10.0	5.5

## 【9】育児休業制度の利用状況

◇育児休業制度の利用者は、母親が31.5%と3割程度みられますが、父親は0.7%と僅かです。
◇育児休業明けの子どもの月齢は「10～14か月目」で、半数が「育児休業期間を調整することなく」保育サービスを再開できたとしています。
◇しかし、育児休業明けに保育サービスをすぐに利用できなかった保護者も6.0%みられ、その時は、主に「家族等にみてもらう」ことで対応しています。

## 【10】子育て支援センター「すくすく」のニーズ

◇子育て支援センター「すくすく」の利用者は、就学前児童で11.3%みられ、週当たり「1日」を中心に、特に0～1歳児ではそれぞれ3割が利用しています。

◇未利用者が利用していない理由は「時間がない（忙しい）」「活動時間等が都合に合わない」などが多くみられます。

◇しかし、今後の利用については、3割（29.9%）の希望がみられ、特に0～2歳児を中心に希望が目立ちます。

## 【11】携帯電話について／小学生児童

◇小学生児童における携帯電話の所有は7.3%と、現状では少なく、「主に親との連絡用として」持たせているケースが主流となっています。また持たせている場合、その9割近くが「アクセス制限」をしています。

◇携帯電話を持たせていない保護者においては「全く不都合はない」が過半数占めています。

## 【12】子どもの健康管理や日常生活等について

<p>1. かかりつけ病院</p>	<p>◇未就学児童の8割近く、小学生児童の過半数が「小児科」を決めています。</p> <table border="1" data-bbox="466 1025 1390 1240"> <thead> <tr> <th>かかりつけ病院の有無</th> <th>就学前児童(N=1860)</th> <th>小学生児童(N=1999)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科と外科を決めている</td> <td>14.7</td> <td>36.8</td> </tr> <tr> <td>小児科のみ決めている</td> <td>77.2</td> <td>53.1</td> </tr> <tr> <td>外科のみ決めている</td> <td>0.1</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>かかりつけ病院は決めていない</td> <td>3.3</td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2.9</td> <td>4.0</td> </tr> </tbody> </table>	かかりつけ病院の有無	就学前児童(N=1860)	小学生児童(N=1999)	小児科と外科を決めている	14.7	36.8	小児科のみ決めている	77.2	53.1	外科のみ決めている	0.1	0.3	かかりつけ病院は決めていない	3.3	5.1	その他	2.9	4.0
かかりつけ病院の有無	就学前児童(N=1860)	小学生児童(N=1999)																	
小児科と外科を決めている	14.7	36.8																	
小児科のみ決めている	77.2	53.1																	
外科のみ決めている	0.1	0.3																	
かかりつけ病院は決めていない	3.3	5.1																	
その他	2.9	4.0																	
<p>2. 子どもの急病対応</p>	<p>◇休日や夜間の子どもの急病対応状況については、就学前児童、小学生児童ともに「浜田医療センターに受診する」が最も多く、「かかりつけ病院に連絡する」がそれに続いています。</p> <table border="1" data-bbox="466 1406 1390 1585"> <thead> <tr> <th>休日や夜間の子どもの急病対応状況</th> <th>就学前児童(N=1860)</th> <th>小学生児童(N=1999)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浜田医療センターに受診する</td> <td>39.7</td> <td>43.3</td> </tr> <tr> <td>かかりつけ病院に連絡する</td> <td>35.5</td> <td>33.9</td> </tr> <tr> <td>市役所の休日診療所に受診する</td> <td>9.4</td> <td>8.8</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4.7</td> <td>5.5</td> </tr> </tbody> </table>	休日や夜間の子どもの急病対応状況	就学前児童(N=1860)	小学生児童(N=1999)	浜田医療センターに受診する	39.7	43.3	かかりつけ病院に連絡する	35.5	33.9	市役所の休日診療所に受診する	9.4	8.8	その他	4.7	5.5			
休日や夜間の子どもの急病対応状況	就学前児童(N=1860)	小学生児童(N=1999)																	
浜田医療センターに受診する	39.7	43.3																	
かかりつけ病院に連絡する	35.5	33.9																	
市役所の休日診療所に受診する	9.4	8.8																	
その他	4.7	5.5																	
<p>3. 心肺蘇生法の認知</p>	<p>◇子どもの心肺蘇生法認知状況については、就学前児童の35.3%、小学生児童の過半数が「講習会を受けて」知っています。</p> <table border="1" data-bbox="466 1727 1390 1906"> <thead> <tr> <th>子どもの心肺蘇生法認知状況</th> <th>就学前児童(N=1860)</th> <th>小学生児童(N=1999)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講習会を受け知っている</td> <td>35.3</td> <td>55.9</td> </tr> <tr> <td>育児書やインターネットで知っている</td> <td>7.7</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>聞いたことはあるが自分ではできない</td> <td>42.5</td> <td>33.1</td> </tr> <tr> <td>知らない</td> <td>12.8</td> <td>7.5</td> </tr> </tbody> </table>	子どもの心肺蘇生法認知状況	就学前児童(N=1860)	小学生児童(N=1999)	講習会を受け知っている	35.3	55.9	育児書やインターネットで知っている	7.7	3.0	聞いたことはあるが自分ではできない	42.5	33.1	知らない	12.8	7.5			
子どもの心肺蘇生法認知状況	就学前児童(N=1860)	小学生児童(N=1999)																	
講習会を受け知っている	35.3	55.9																	
育児書やインターネットで知っている	7.7	3.0																	
聞いたことはあるが自分ではできない	42.5	33.1																	
知らない	12.8	7.5																	

<p>4. 母親の気持ちや体の調子</p>	<p>◇母親の気持ちや体の調子については、就学前児童、小学生児童の保護者ともに「心身ともに快調」が6割以上を占めています。</p> <table border="1" data-bbox="464 293 1390 510"> <thead> <tr> <th>母親の気持ちや体の調子</th> <th>就学前児童(N=1860)</th> <th>小学生児童(N=1999)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心身ともに快調</td> <td>62.1</td> <td>62.8</td> </tr> <tr> <td>体の調子は良いが精神的に良くない</td> <td>7.4</td> <td>8.3</td> </tr> <tr> <td>精神的には良いが体調が良くない</td> <td>3.7</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>心身ともに調子が悪い</td> <td>4.8</td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>19.8</td> <td>17.9</td> </tr> </tbody> </table>	母親の気持ちや体の調子	就学前児童(N=1860)	小学生児童(N=1999)	心身ともに快調	62.1	62.8	体の調子は良いが精神的に良くない	7.4	8.3	精神的には良いが体調が良くない	3.7	3.9	心身ともに調子が悪い	4.8	5.1	どちらともいえない	19.8	17.9															
母親の気持ちや体の調子	就学前児童(N=1860)	小学生児童(N=1999)																																
心身ともに快調	62.1	62.8																																
体の調子は良いが精神的に良くない	7.4	8.3																																
精神的には良いが体調が良くない	3.7	3.9																																
心身ともに調子が悪い	4.8	5.1																																
どちらともいえない	19.8	17.9																																
<p>5. 父親の家事への参加状況</p>	<p>◇父親は、「ほとんど家事を手伝うことはない」が32.6%（就学前児童の場合）と最も多くみられますが、「毎日時間を見つけて分担している」（32.1%）、「仕事が休みの日は分担している」（23.4%）も比較的多くみられます。</p> <table border="1" data-bbox="464 725 1390 907"> <thead> <tr> <th>父親の家事への参加状況</th> <th>就学前児童(N=1860)</th> <th>小学生児童(N=1999)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全ての家事を担当している</td> <td>2.5</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>毎日時間を見つけて分担している</td> <td>32.1</td> <td>24.5</td> </tr> <tr> <td>仕事が休みの日は分担している</td> <td>23.4</td> <td>22.1</td> </tr> <tr> <td>ほとんど家事を手伝うことはない</td> <td>32.6</td> <td>39.5</td> </tr> </tbody> </table>	父親の家事への参加状況	就学前児童(N=1860)	小学生児童(N=1999)	全ての家事を担当している	2.5	2.5	毎日時間を見つけて分担している	32.1	24.5	仕事が休みの日は分担している	23.4	22.1	ほとんど家事を手伝うことはない	32.6	39.5																		
父親の家事への参加状況	就学前児童(N=1860)	小学生児童(N=1999)																																
全ての家事を担当している	2.5	2.5																																
毎日時間を見つけて分担している	32.1	24.5																																
仕事が休みの日は分担している	23.4	22.1																																
ほとんど家事を手伝うことはない	32.6	39.5																																
<p>6. 父親が子どもと過ごす時間</p>	<p>◇就学前児童の場合「毎日持っている」「時々時間を持っている」の合計で6割以上を占めていますが、小学生児童ではその割合は少なくなります。</p> <table border="1" data-bbox="464 1072 1390 1328"> <thead> <tr> <th></th> <th>就学前児童(N=1860)</th> <th>小学生児童(N=1999)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>毎日持っている</td> <td>37.5</td> <td>18.8</td> </tr> <tr> <td>時々時間を持っている</td> <td>25.6</td> <td>29.1</td> </tr> <tr> <td>休日のみ時間を持っている</td> <td>17.0</td> <td>21.2</td> </tr> <tr> <td>忙しくてほとんど時間を持ってない</td> <td>9.1</td> <td>15.5</td> </tr> <tr> <td>子どもが習い事などで時間を取れない</td> <td>—</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1.5</td> <td>2.3</td> </tr> </tbody> </table>		就学前児童(N=1860)	小学生児童(N=1999)	毎日持っている	37.5	18.8	時々時間を持っている	25.6	29.1	休日のみ時間を持っている	17.0	21.2	忙しくてほとんど時間を持ってない	9.1	15.5	子どもが習い事などで時間を取れない	—	0.8	その他	1.5	2.3												
	就学前児童(N=1860)	小学生児童(N=1999)																																
毎日持っている	37.5	18.8																																
時々時間を持っている	25.6	29.1																																
休日のみ時間を持っている	17.0	21.2																																
忙しくてほとんど時間を持ってない	9.1	15.5																																
子どもが習い事などで時間を取れない	—	0.8																																
その他	1.5	2.3																																
<p>7. 子どもの遊び場について</p>	<p>◇子どもの遊び場については、「雨の日に遊べる場所が少ない」が6割を超え最も多く、以下「近くに遊び場が少ない」「安全・安心に遊ばせる場所が少ない」などが多くあがっています。</p> <table border="1" data-bbox="443 1498 1433 1897"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>子どもの遊び場について感じる事</th> <th>就学前児童(N=1860)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>雨の日に遊べる場所が少ない</td> <td>61.2</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>近くに遊び場が少ない</td> <td>46.6</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>安全に安心して遊ばせる場所が少ない</td> <td>33.3</td> </tr> <tr> <td>4位</td> <td>遊び場の遊具などの設備が充実していない</td> <td>30.8</td> </tr> <tr> <td>5位</td> <td>遊び場に同じくらいの年齢の子どもがいない</td> <td>21.6</td> </tr> <tr> <td>6位</td> <td>自然の中で遊ばせる場所が少ない</td> <td>20.2</td> </tr> <tr> <td>7位</td> <td>遊び場がいつも閑散としていて寂しい</td> <td>16.8</td> </tr> <tr> <td>8位</td> <td>思い切り遊ぶための広さがない</td> <td>16.3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特に感じることはない</td> <td>9.5</td> </tr> </tbody> </table>	順位	子どもの遊び場について感じる事	就学前児童(N=1860)	1位	雨の日に遊べる場所が少ない	61.2	2位	近くに遊び場が少ない	46.6	3位	安全に安心して遊ばせる場所が少ない	33.3	4位	遊び場の遊具などの設備が充実していない	30.8	5位	遊び場に同じくらいの年齢の子どもがいない	21.6	6位	自然の中で遊ばせる場所が少ない	20.2	7位	遊び場がいつも閑散としていて寂しい	16.8	8位	思い切り遊ぶための広さがない	16.3		その他	2.5		特に感じることはない	9.5
順位	子どもの遊び場について感じる事	就学前児童(N=1860)																																
1位	雨の日に遊べる場所が少ない	61.2																																
2位	近くに遊び場が少ない	46.6																																
3位	安全に安心して遊ばせる場所が少ない	33.3																																
4位	遊び場の遊具などの設備が充実していない	30.8																																
5位	遊び場に同じくらいの年齢の子どもがいない	21.6																																
6位	自然の中で遊ばせる場所が少ない	20.2																																
7位	遊び場がいつも閑散としていて寂しい	16.8																																
8位	思い切り遊ぶための広さがない	16.3																																
	その他	2.5																																
	特に感じることはない	9.5																																

<p>8. 子どもの交友関係について (小学生児童)</p>	<p>◇子どもの交友関係については、「クラスの仲の良い友だちを知っている」が66.0%と、おおむね子どもの交友相手は認識されています。</p> <table border="1" data-bbox="472 286 1385 501"> <thead> <tr> <th colspan="2">子どもの交友関係</th> <th>小学生児童(N=1999)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クラスの仲の良い友だちを知っている</td> <td></td> <td>66.0</td> </tr> <tr> <td>近所で遊びに行く友だちの家を知っている</td> <td></td> <td>18.8</td> </tr> <tr> <td>クラブ等で仲の良い友だちを知っている</td> <td></td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>友だちのことをよく知らない</td> <td></td> <td>1.1</td> </tr> </tbody> </table>	子どもの交友関係		小学生児童(N=1999)	クラスの仲の良い友だちを知っている		66.0	近所で遊びに行く友だちの家を知っている		18.8	クラブ等で仲の良い友だちを知っている		3.0	その他		1.9	友だちのことをよく知らない		1.1															
子どもの交友関係		小学生児童(N=1999)																																
クラスの仲の良い友だちを知っている		66.0																																
近所で遊びに行く友だちの家を知っている		18.8																																
クラブ等で仲の良い友だちを知っている		3.0																																
その他		1.9																																
友だちのことをよく知らない		1.1																																
<p>9. 平日の放課後や休日の過ごし方の希望 (小学生児童)</p>	<p>◇「友だちと屋外で遊ばせたい」が最も多く、次いで「親子又は家族とだんらんさせたい」「家の手伝いをさせたい」「読書や趣味などゆとりの時間を過ごさせたい」など、希望は多岐にわたっています。</p> <table border="1" data-bbox="443 667 1428 1052"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>平日の放課後や休日の過ごし方の希望</th> <th>小学生児童(N=1999)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>友だちと屋外で遊ばせたい</td> <td>82.8</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>親子又は家族とだんらんさせたい</td> <td>70.8</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>家の手伝いをさせたい</td> <td>46.8</td> </tr> <tr> <td>4位</td> <td>読書や趣味などゆとりの時間を過ごさせたい</td> <td>41.1</td> </tr> <tr> <td>5位</td> <td>子ども会・スポーツ活動・地域の活動等に参加させたい</td> <td>40.1</td> </tr> <tr> <td>6位</td> <td>子ども同士で安心して遊んだり学習できる公共の場所(があれば)預けたい</td> <td>30.3</td> </tr> <tr> <td>7位</td> <td>学習塾や習い事に行かせたい</td> <td>19.0</td> </tr> <tr> <td>8位</td> <td>奉仕活動やボランティア活動に参加させたい</td> <td>15.5</td> </tr> <tr> <td>9位</td> <td>友だちと室内で遊ばせたい</td> <td>11.9</td> </tr> <tr> <td>10位</td> <td>家でテレビ・ゲーム等を楽しませたい</td> <td>3.3</td> </tr> </tbody> </table>	順位	平日の放課後や休日の過ごし方の希望	小学生児童(N=1999)	1位	友だちと屋外で遊ばせたい	82.8	2位	親子又は家族とだんらんさせたい	70.8	3位	家の手伝いをさせたい	46.8	4位	読書や趣味などゆとりの時間を過ごさせたい	41.1	5位	子ども会・スポーツ活動・地域の活動等に参加させたい	40.1	6位	子ども同士で安心して遊んだり学習できる公共の場所(があれば)預けたい	30.3	7位	学習塾や習い事に行かせたい	19.0	8位	奉仕活動やボランティア活動に参加させたい	15.5	9位	友だちと室内で遊ばせたい	11.9	10位	家でテレビ・ゲーム等を楽しませたい	3.3
順位	平日の放課後や休日の過ごし方の希望	小学生児童(N=1999)																																
1位	友だちと屋外で遊ばせたい	82.8																																
2位	親子又は家族とだんらんさせたい	70.8																																
3位	家の手伝いをさせたい	46.8																																
4位	読書や趣味などゆとりの時間を過ごさせたい	41.1																																
5位	子ども会・スポーツ活動・地域の活動等に参加させたい	40.1																																
6位	子ども同士で安心して遊んだり学習できる公共の場所(があれば)預けたい	30.3																																
7位	学習塾や習い事に行かせたい	19.0																																
8位	奉仕活動やボランティア活動に参加させたい	15.5																																
9位	友だちと室内で遊ばせたい	11.9																																
10位	家でテレビ・ゲーム等を楽しませたい	3.3																																

### 【13】子育て支援事業のニーズ

<p>1. 就学前児童</p>	<p>◇子育てサービスの今後の利用希望（今後利用したい）については、「子育て支援センター事業(※1)」が37.9%と最も多く、「育児相談」が34.3%でそれに続きます。</p> <table border="1" data-bbox="443 1312 1439 1684"> <thead> <tr> <th>子育てサービスの利用・ニーズ</th> <th>利用したことがある</th> <th>知っているが利用したことはない</th> <th>知らない</th> <th>今後利用したい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>育児相談</td> <td>20.2</td> <td>53.5</td> <td>22.1</td> <td>34.3</td> </tr> <tr> <td>子育てサークル(母親クラブ)</td> <td>12.7</td> <td>46.6</td> <td>36.6</td> <td>20.6</td> </tr> <tr> <td>子どもの居場所(NPO法人等主催)</td> <td>5.8</td> <td>29.1</td> <td>60.9</td> <td>26.1</td> </tr> <tr> <td>子育て広場、子育てサロン、クラブ</td> <td>19.4</td> <td>39.7</td> <td>36.8</td> <td>30.6</td> </tr> <tr> <td>ちびっこ広場</td> <td>3.7</td> <td>23.2</td> <td>68.7</td> <td>31.4</td> </tr> <tr> <td>子育て支援センター事業(※1)</td> <td>27.4</td> <td>45.1</td> <td>23.4</td> <td>37.9</td> </tr> <tr> <td>子育て支援センター事業(※2)</td> <td>17.0</td> <td>48.8</td> <td>29.8</td> <td>31.9</td> </tr> <tr> <td>子育て支援センター事業(※3)</td> <td>28.0</td> <td>50.7</td> <td>17.3</td> <td>34.3</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">         (※1) 各種交流事業          (※2) お父さん講座・健康講座・食事講座等の各種講座及び研修          (※3) 育児相談、おっぱい相談等の相談事業       </p>	子育てサービスの利用・ニーズ	利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	今後利用したい	育児相談	20.2	53.5	22.1	34.3	子育てサークル(母親クラブ)	12.7	46.6	36.6	20.6	子どもの居場所(NPO法人等主催)	5.8	29.1	60.9	26.1	子育て広場、子育てサロン、クラブ	19.4	39.7	36.8	30.6	ちびっこ広場	3.7	23.2	68.7	31.4	子育て支援センター事業(※1)	27.4	45.1	23.4	37.9	子育て支援センター事業(※2)	17.0	48.8	29.8	31.9	子育て支援センター事業(※3)	28.0	50.7	17.3	34.3
子育てサービスの利用・ニーズ	利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	今後利用したい																																										
育児相談	20.2	53.5	22.1	34.3																																										
子育てサークル(母親クラブ)	12.7	46.6	36.6	20.6																																										
子どもの居場所(NPO法人等主催)	5.8	29.1	60.9	26.1																																										
子育て広場、子育てサロン、クラブ	19.4	39.7	36.8	30.6																																										
ちびっこ広場	3.7	23.2	68.7	31.4																																										
子育て支援センター事業(※1)	27.4	45.1	23.4	37.9																																										
子育て支援センター事業(※2)	17.0	48.8	29.8	31.9																																										
子育て支援センター事業(※3)	28.0	50.7	17.3	34.3																																										

2. 小学生児童	◇子育てサービスの今後の利用希望（今後利用したい）については、「放課後児童クラブ」が23.9%と最も多く、以下「子どもの居場所（NPO法人等主催）」「④ちびっこ広場」などが続いています。				
	子育てサービスの利用・ニーズ	利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	今後利用したい
	ファミリーサポートセンター	4.3	69.6	19.3	12.4
	放課後児童クラブ	44.3	48.1	2.7	23.9
	子どもの居場所(NPO法人等主催)	8.8	48.6	36.1	18.3
	ちびっこ広場	4.2	29.2	59.7	14.4

#### 【14】理想の子ども数と予定子ども数について

##### 1. 理想子ども数・予定子ども数

◇就学前児童、小学生児童ともに理想とする子どもの数は「3人」という一方で、予定する子ども数は「2人」がそれぞれ最も多くなっており、理想と現状における差が顕著にみられます。

理想子ども数・予定子ども数	就学前児童(N=1860)		小学生児童(N=1999)	
	理想子ども数	予定子ども数	理想子ども数	予定子ども数
1人	2.5	12.7	2.3	11.2
2人	32.4	47.2	32.1	38.3
3人	53.8	27.1	52.1	26.9
4人	5.9	4.2	7.6	5.6
5人以上	2.3	0.7	2.8	1.1

※表中の網掛けは、回答割合が最も多い項目を示します。

##### 2. 理想子ども数より予定子ども数が少ない理由

◇「経済的な負担」や「仕事と子育ての両立」「子育ての心理的・肉体的負担」が理想と現状に差がみられる大きな要因となっています。

順位	理想子ども数より少ない理由	就学前児童(n=919)	小学生児童(n=1014)
1位	子育てにかかる経済的負担が大きいから	59.3	44.2
2位	仕事と子育ての両立が難しいから	39.8	30.3
3位	子育てに対する心理的・肉体的負担が重いから	32.4	27.1
4位	住宅事情が厳しいから	13.7	9.3
5位	自分たちの自由な時間が少なくなるから	10.6	6.3
6位	自分や配偶者が定年退職するまでに一番末の子どもが成人しないから	10.2	14.8
7位	出産・育児は女性の自立にとって負担になるから	8.2	5.3
8位	妊娠を希望しているが妊娠しないため	7.6	8.2
9位	世間並みの子どもの数に合わせたいから	0.1	0.1
	その他	12.6	10.8

※順位は就学前児童を基準に並べ替えています。

## 【15】子育て全般について

### 1. 子育ての不安や悩みについて

◇子育ての不安や悩みの相談先は「配偶者・パートナー」「親族（親・兄弟）」など、身近な存在が多くなっています。

◇就学前児童では「子どもを叱りすぎているような気がする」「食事や栄養」「育児の方法（しつけ）」など、その悩みや気になることは多岐にわたっています。

順位	子育てに関する悩みや不安の相談先(上位項目抜粋)	就学前児童(N=1860)	小学生児童(N=1999)
1位	配偶者・パートナー	81.4	76.4
2位	その他の親族(親、兄弟など)	75.3	66.1
3位	隣近所の人、地域の知人、友人	52.5	54.2
4位	保育士、幼稚園の先生、学校の先生	33.3	24.8
5位	職場の人	32.8	35.7
6位	保育所、幼稚園、学校の保護者の仲間	31.5	31.4
7位	医師・看護師	12.2	5.9
8位	子育て支援センター	6.6	1.1

順位	子育てに関して日常悩んでいること・気になること(上位抜粋)	就学前児童(N=1860)	小学生児童(N=1999)
1位	子どもを叱りすぎているような気がする	34.8	28.8
2位	食事や栄養に関する	31.2	18.1
3位	育児の方法(しつけなど)がよくわからない	29.5	14.5
4位	病気に関する	28.4	17.4
5位	発達・発育に関する	24.1	15.2
6位	子どもとの時間を十分にとれない	23.9	19.8
7位	子どもの教育に関する	23.2	33.7
8位	仕事と子育ての両立が難しい	22.0	14.6
9位	友だちづきあい(いじめ等を含む)に関する	17.2	32.7
10位	仕事や自分のやりたいことが十分できない	16.0	10.6
11位	子どもとの接し方に自信が持てない	12.2	9.8
12位	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ない	8.5	8.1

※順位は就学前児童を基準に並べ替えています。

◇子育て情報の入手は「親族（親・兄弟）」「隣近所の友人・知人」など、相談先と同様に身近な人が多くみられます。

順位	子育てに関する情報入手源(上位項目抜粋)	就学前児童(N=1860)	小学生児童(N=1999)
1位	親族(親、兄弟など)	61.8	54.1
2位	隣近所の人、知人、友人	59.9	65.0
3位	保育園、幼稚園、学校	53.7	42.3
4位	テレビ、ラジオ、新聞	33.0	39.3
5位	子育て雑誌・育児書	29.8	13.7
6位	インターネット	22.5	11.4
7位	市の広報やパンフレット・ホームページ	21.9	16.2
8位	子育て支援センター	8.8	1.4

※順位は就学前児童を基準に並べ替えています。

## 2. 仕事と子育ての両立について

◇「家族の理解と協力」「職場の理解」など啓発に関することが、多く求められています。(注:「とてもそう思う」への回答)

順位	仕事と子育ての両立について 「とても必要と思う」への回答	就学前児童(N=1860)	小学生児童(N=1999)
		とても必要と思う	とても必要と思う
1位	家族の理解と協力	93.6	92.9
2位	子育てに関する職場の理解	87.4	81.9
3位	子どもの病気やけが、学校の参観日などに休暇がとれる制度の導入	77.5	69.6
4位	育児休業の延長や育児休業手当の支給など育児休業制度の充実	76.9	70.3
5位	放課後児童クラブなどの充実	62.0	49.4
6位	労働時間の短縮や勤務時間の弾力化	59.2	49.4
7位	出産・育児のために退職した人の再雇用促進	56.3	52.7
8位	保育所における産休明け保育や保育時間の延長	50.6	45.5
9位	自宅で仕事ができる在宅勤務制度の導入	29.2	25.9

※順位は就学前児童を基準に並べ替えています。

### 【16】ひとり親家庭のニーズ

#### 1. ひとり親家庭における仕事と家庭の両立のために希望すること

◇ひとり親家庭における仕事と家庭の両立のために希望することについては、「経済的負担を軽減するための手当等の支給制度を充実して欲しい」といった経済的支援が最も多く希望されています。以下「延長保育・休日保育・病後児保育等のサービスを増やして欲しい」「保育サービス等の利用料の負担を軽減して欲しい」などが求められています。

順位	ひとり親家庭／仕事と家庭の両立のために希望すること	就学前児童(n=166)	小学生児童(n=256)
1位	経済的負担を軽減するための手当等の支給制度を充実して欲しい	42.2	46.9
2位	延長保育・休日保育・病後児保育等のサービスを増やして欲しい	15.1	—
3位	保育サービス等の利用料の負担を軽減して欲しい	14.5	—
4位	公営住宅への優先入居など住宅支援を充実して欲しい	7.2	3.9
5位	保護者が病気の時などに子供を保育園等へ送迎するような支援制度を充実して欲しい	2.4	—
6位	家事負担を軽減するためのヘルパー派遣等のサービスを充実して欲しい	0.6	2.0
7位	放課後児童クラブ等を学校または学校周辺に併設して欲しい	—	2.7
8位	放課後児童クラブ等の時間延長・休日預かり・病後児預かり等のサービスを増やして欲しい	—	9.0
9位	保護者が病気の時などに子どもを預かってもらえるなどの支援制度を充実して欲しい	—	5.9
10位	教育にかかる費用を支援して欲しい	—	—
11位	子どもの学習を支援してもらえる制度等が欲しい	—	6.6

※順位は就学前児童を基準に並べ替えています。

#### 2. 経済的負担軽減のために希望する制度等

◇ひとり親家庭における経済的負担軽減のために希望する制度等については、「ひとり親家庭への児童手当増額支給制度」が最も多く、これにほぼ特化しています。以下「保育所や幼稚園の保育料等軽減の制度」「医療費の自己負担額軽減の制度」が求められています。

順位	ひとり親家庭／経済的負担軽減のために希望する制度等	就学前児童(n=166)	小学生児童(n=256)
1位	ひとり親家庭への児童手当増額支給制度	53.0	76.2
2位	保育所や幼稚園の保育料等軽減の制度	12.0	45.7
3位	医療費の自己負担額軽減の制度	6.6	17.6
4位	延長保育利用にかかる利用料軽減の制度	2.4	7.0
5位	病後時保育利用に係る利用料軽減の制度	1.2	8.2

※順位は就学前児童を基準に並べ替えています。

## 【17】行政サービスへのニーズ

### 1. 子育て親同士の交流の場への参加希望／就学前児童

◇子育て親同士の交流の場への参加希望については、「積極的に参加してみたい」が9.8%、「できれば参加してみたい」が49.7%の内訳で、合計6割近く（59.5%）が参加希望を示しています。

子育て親同士の交流の場への参加希望	就学前児童(N=1860)
積極的に参加してみたい	9.8
できれば参加してみたい	49.7
あまり参加したいと思わない	29.2
参加したくない	6.3

### 2. 浜田市に希望する子育て支援施策／就学前児童

◇浜田市に対しては、就学前児童では「親子が安心して、出かけやすく楽しめる場所」を筆頭に、「医療体制の整備」「企業に対する職場環境の改善の働きかけ」「周産期医療体制の充実」などが強く求められています。

順位	就学前児童／浜田市に希望する子育て支援施策	就学前児童(N=1860)
1位	親子が安心して集まることができ、出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい	54.9
2位	安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい	45.3
3位	残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい	35.1
4位	産前・産後を含む出産時の医療体制を充実して欲しい	34.7
5位	親子で楽しめるイベントの機会を充実してほしい	34.1
6位	公共の建物や商店などに、授乳やオムツ替えのための設備を充実して欲しい	29.1
7位	子どもが多い世帯には公営住宅に優先的に入居させたり、広い部屋を割り当てたりするなど、住宅面での配慮が欲しい	14.9
8位	歩道の段差解消や公共建築物のバリアフリー化など外出・移動しやすいまちづくりを充実して欲しい	13.3
9位	出産や育児に関する行政からの情報提供を充実させて欲しい	11.5
10位	子育てに困った時に相談したり情報が得られる場を作ってほしい	10.6
11位	保育所を増やしてほしい	10.1
12位	子どもへの接し方や育児方法について学べる機会を増やして欲しい	9.7
13位	認定こども園等の保育施設と幼稚園が一体化した施設を設置してほしい	6.6
14位	気軽に利用できるNPO等による保育サービスがほしい	6.5
15位	幼稚園を増やしてほしい	4.8
	その他	5.3

### 3. 浜田市に希望する子育て支援施策／小学生児童

◇一方、小学生児童では「親子が安心して、出かけやすく楽しめる場所」が就学前児童と同様に最も多く、「子どもが土日に活動したり遊べる場の充実」「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備」が続いています。以下「子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場の充実」「親子で楽しめるイベントの機会の充実」「企業に対する職場環境の改善の働きかけ」などが求められています。

順位	小学生児童／浜田市に希望する子育て支援施策	小学生児童(N=1999)
1位	親子が安心して集まることができ、出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい	46.6
2位	安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい	40.8
3位	子どもが土日に活動したり遊べる場を充実してほしい	40.8
4位	子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場を充実してほしい	34.9
5位	親子で楽しめるイベントの機会を充実してほしい	24.3
6位	子どもが多い世帯には公営住宅に優先的に入居させたり、広い部屋を割り当てたりするなど、住宅面での配慮が欲しい	22.8
7位	身近な地域でお互いに「声かけ」し合えるようなまちづくりを推進してほしい	20.8
8位	子ども自身が悩みを相談できる場を充実してほしい	13.1
9位	子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれる場を充実してほしい	12.0
10位	歩道の段差解消や公共建築物のバリアフリー化など外出・移動しやすいまちづくりを充実してほしい	10.9
11位	子育てに困った時に相談したり情報が得られる場を作してほしい	10.5
12位	公共の建物や商店などに、授乳やオムツ替えのための設備を充実してほしい	8.1
13位	産前・産後を含む出産時の医療体制を充実してほしい	7.0
14位	子どもへの接し方や育児方法について学べる機会を増やしてほしい	4.6
	その他	4.3

## 調査結果（中学生・高校生生徒／要約編）

### 【1】属性及び家族の状況

1. 同居家族	◇同居家族については「両親と同居」が大半を占めていますが、「母子家庭」が10.1%、「父子家庭」が3.0%みられました。「兄弟」がいる中・高校生は7割以上、「父方の祖父母」も2割以上みられます。
---------	---

### 【2】家庭での様子について

1. 朝食について	<p>◇朝食については「毎日食べる」が86.6%、「週に5～6日食べる」が5.6%と、合計9割以上と、大半の中・高校生が毎朝朝食をとっています。これは中学生、高校生共に同傾向です。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th style="text-align: center;">朝食について</th> <th style="text-align: center;">中・高校生(N=2277)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>毎日食べる</td> <td style="text-align: right;">86.6</td> </tr> <tr> <td>週に5～6日食べる</td> <td style="text-align: right;">5.6</td> </tr> <tr> <td>週に3～4日食べる</td> <td style="text-align: right;">3.1</td> </tr> <tr> <td>週に1～2日食べる</td> <td style="text-align: right;">1.1</td> </tr> <tr> <td>ほとんど食べない</td> <td style="text-align: right;">3.0</td> </tr> </tbody> </table>	朝食について	中・高校生(N=2277)	毎日食べる	86.6	週に5～6日食べる	5.6	週に3～4日食べる	3.1	週に1～2日食べる	1.1	ほとんど食べない	3.0																					
朝食について	中・高校生(N=2277)																																	
毎日食べる	86.6																																	
週に5～6日食べる	5.6																																	
週に3～4日食べる	3.1																																	
週に1～2日食べる	1.1																																	
ほとんど食べない	3.0																																	
2. 一緒に食事をする人	<p>◇朝食は「家族の誰かと一緒に食べることが多い」が42.2%と最も多く、「家族みんなで食べることが多い」が22.1%で、合計およそ6割が日常的に誰かと食事をしています。</p> <p>◇夕食は「家族みんなで食べるが多い」が62.5%と主流で、「家族の誰かと一緒に食べるが多い」は27.8%と、合計でおよそ8割以上が誰かと一緒に食べています。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th style="text-align: center;">一緒に食事をする人</th> <th style="text-align: center;">朝食</th> <th style="text-align: center;">夕食</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族みんなで食べるが多い</td> <td style="text-align: right;">22.1</td> <td style="text-align: right;">62.5</td> </tr> <tr> <td>家族の誰かと一緒に食べるが多い</td> <td style="text-align: right;">42.2</td> <td style="text-align: right;">27.8</td> </tr> <tr> <td>ひとりで食べるが多い</td> <td style="text-align: right;">34.8</td> <td style="text-align: right;">7.2</td> </tr> </tbody> </table>	一緒に食事をする人	朝食	夕食	家族みんなで食べるが多い	22.1	62.5	家族の誰かと一緒に食べるが多い	42.2	27.8	ひとりで食べるが多い	34.8	7.2																					
一緒に食事をする人	朝食	夕食																																
家族みんなで食べるが多い	22.1	62.5																																
家族の誰かと一緒に食べるが多い	42.2	27.8																																
ひとりで食べるが多い	34.8	7.2																																
3. 保護者との日常の会話の状況	<p>◇保護者とは「ほとんど会話をしない」が8.4%であることから、多くの中高生が日常的に家族と会話しているとみられます。会話は「学校や塾、習い事の出来事」が半数を超え最も多く、以下「テレビの番組」「友だちのこと」「勉強のこと」などがほぼ並んで続いています。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th style="text-align: center;">順位</th> <th style="text-align: center;">保護者との日常の会話の状況(上位項目抜粋)</th> <th style="text-align: center;">中・高校生(N=2277)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1位</td> <td>学校や塾、習い事の出来事</td> <td style="text-align: right;">50.6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2位</td> <td>テレビの番組</td> <td style="text-align: right;">49.8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3位</td> <td>友だちのこと</td> <td style="text-align: right;">47.6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4位</td> <td>勉強のこと</td> <td style="text-align: right;">45.6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5位</td> <td>自分の将来のこと</td> <td style="text-align: right;">27.9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6位</td> <td>社会の出来事</td> <td style="text-align: right;">24.5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7位</td> <td>自分の趣味のこと</td> <td style="text-align: right;">20.9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8位</td> <td>仕事のこと</td> <td style="text-align: right;">10.2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9位</td> <td>自分が悩んでいること</td> <td style="text-align: right;">9.4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ほとんど会話をしない</td> <td style="text-align: right;">8.4</td> </tr> </tbody> </table>	順位	保護者との日常の会話の状況(上位項目抜粋)	中・高校生(N=2277)	1位	学校や塾、習い事の出来事	50.6	2位	テレビの番組	49.8	3位	友だちのこと	47.6	4位	勉強のこと	45.6	5位	自分の将来のこと	27.9	6位	社会の出来事	24.5	7位	自分の趣味のこと	20.9	8位	仕事のこと	10.2	9位	自分が悩んでいること	9.4		ほとんど会話をしない	8.4
順位	保護者との日常の会話の状況(上位項目抜粋)	中・高校生(N=2277)																																
1位	学校や塾、習い事の出来事	50.6																																
2位	テレビの番組	49.8																																
3位	友だちのこと	47.6																																
4位	勉強のこと	45.6																																
5位	自分の将来のこと	27.9																																
6位	社会の出来事	24.5																																
7位	自分の趣味のこと	20.9																																
8位	仕事のこと	10.2																																
9位	自分が悩んでいること	9.4																																
	ほとんど会話をしない	8.4																																

<p>4. 保護者が気持ちを理解してくれるかについて</p>	<p>◇保護者が気持ちを理解してくれるかについては「だいたいわかっている」が54.2%と最も多く、「よくわかっている」が25.9%で、合計でおよそ8割が理解してくれていると感じています。</p> <table border="1" data-bbox="507 331 1347 515"> <thead> <tr> <th>保護者が気持ちを理解してくれるかについて</th> <th>中・高校生(N=2277)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よくわかっている</td> <td>25.9</td> </tr> <tr> <td>だいたいわかっている</td> <td>54.2</td> </tr> <tr> <td>あまりわかっているでない</td> <td>14.3</td> </tr> <tr> <td>わかっているでない</td> <td>4.5</td> </tr> </tbody> </table>	保護者が気持ちを理解してくれるかについて	中・高校生(N=2277)	よくわかっている	25.9	だいたいわかっている	54.2	あまりわかっているでない	14.3	わかっているでない	4.5
保護者が気持ちを理解してくれるかについて	中・高校生(N=2277)										
よくわかっている	25.9										
だいたいわかっている	54.2										
あまりわかっているでない	14.3										
わかっているでない	4.5										
<p>5. 保護者が話を聞いてくれるかについて</p>	<p>◇保護者が話を聞いてくれるかについては、「だいたい聞いてくれる」が半数近く(49.3%)と最も多く、「よく聞いてくれる」が40.3%で続いており、合計で9割近くが話を聞いてくれると意識しています。</p> <table border="1" data-bbox="507 676 1347 860"> <thead> <tr> <th>保護者が話を聞いてくれるかについて</th> <th>中・高校生(N=2277)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よく聞いてくれる</td> <td>40.3</td> </tr> <tr> <td>だいたい聞いてくれる</td> <td>49.3</td> </tr> <tr> <td>あまり聞いてくれない</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>聞いてくれない</td> <td>2.5</td> </tr> </tbody> </table>	保護者が話を聞いてくれるかについて	中・高校生(N=2277)	よく聞いてくれる	40.3	だいたい聞いてくれる	49.3	あまり聞いてくれない	7.0	聞いてくれない	2.5
保護者が話を聞いてくれるかについて	中・高校生(N=2277)										
よく聞いてくれる	40.3										
だいたい聞いてくれる	49.3										
あまり聞いてくれない	7.0										
聞いてくれない	2.5										

### 【3】学校や地域での様子について

<p>1. 学校での生活について</p>	<p>◇学校での生活は「楽しい」が48.8%、「どちらかといえば楽しい」が38.2%の内訳で、合計で9割近くがおおむね楽しいと感じています。一方で学年が上がるほど「どちらかといえば楽しくない」「楽しくない」という回答が緩やかに増える傾向にあります。</p> <table border="1" data-bbox="507 1160 1347 1344"> <thead> <tr> <th>学校での生活について</th> <th>中・高校生(N=2277)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>楽しい</td> <td>48.8</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば楽しい</td> <td>38.2</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば楽しくない</td> <td>8.2</td> </tr> <tr> <td>楽しくない</td> <td>4.2</td> </tr> </tbody> </table>	学校での生活について	中・高校生(N=2277)	楽しい	48.8	どちらかといえば楽しい	38.2	どちらかといえば楽しくない	8.2	楽しくない	4.2
学校での生活について	中・高校生(N=2277)										
楽しい	48.8										
どちらかといえば楽しい	38.2										
どちらかといえば楽しくない	8.2										
楽しくない	4.2										
<p>2. 先生が気持ちを理解してくれるかについて</p>	<p>◇先生が気持ちを理解してくれるかについては「よくわかっている」が過半数を占め最も多く、「だいたいよくわかっている」との合計で約7割が「わかっている」と感じています。また、「あまりわかっているでない」「わかっているでない」への回答も合計で3割近くみられます。</p> <table border="1" data-bbox="507 1599 1347 1783"> <thead> <tr> <th>先生が気持ちを理解してくれるかについて</th> <th>中・高校生(N=2277)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よくわかっている</td> <td>14.7</td> </tr> <tr> <td>だいたいわかっている</td> <td>56.0</td> </tr> <tr> <td>あまりわかっているでない</td> <td>19.9</td> </tr> <tr> <td>わかっているでない</td> <td>8.0</td> </tr> </tbody> </table>	先生が気持ちを理解してくれるかについて	中・高校生(N=2277)	よくわかっている	14.7	だいたいわかっている	56.0	あまりわかっているでない	19.9	わかっているでない	8.0
先生が気持ちを理解してくれるかについて	中・高校生(N=2277)										
よくわかっている	14.7										
だいたいわかっている	56.0										
あまりわかっているでない	19.9										
わかっているでない	8.0										

### 3. 学校生活で困ったことやいやなこと

◇学校生活で困ったことやいやなことは「特にいやなことはない」という回答がおよそ2割であることから、7割以上に何らかの困ったことやいやなことがあったとみられます。困ったことやいやなことは「成績がなかなか上がらない」が最も多く、以下「勉強がよくわからない」「きらいな先生がいる」などが続きます。

順位	学校生活で困ったことやいやなこと(上位項目抜粋)	中・高校生(N=2277)
1位	成績がなかなか上がらない	42.2
2位	勉強がよくわからない	36.7
3位	きらいな先生がいる	25.1
4位	学校の規則がきびしすぎる	16.2
5位	運動が苦手	12.9
6位	クラブ活動や部活動がつまらない	10.0
7位	クラスの他の子とのつきあいがつらい	7.6
	特にいやなことはない	23.6

### 4. 休日の過ごし方

◇休日の過ごし方は「テレビを見たり音楽を聴く」が7割以上と突出して最も多く、次いで「友達と会う(遊ぶ)」「寝る」「買い物など街へ出かける」などが続いています。

順位	休日の過ごし方(上位項目抜粋)	中・高校生(N=2277)
1位	テレビを見たり音楽を聴く	75.7
2位	友達と会う(遊ぶ)	54.9
3位	寝る	53.3
4位	買い物など街へ出かける	43.2
5位	室内でゲームなどで遊ぶ	39.1
6位	家族と一緒に外へ出かける	36.0
7位	家で勉強している	35.7
8位	インターネットをする	34.8
9位	スポーツをする	32.1
10位	電話やメールをする	31.0

### 5. クラブ活動や地域で活動していること

◇クラブ活動や地域で活動していることは「特に参加しているものはない」が21.2%であることから、中高校生の7割以上は何らかの活動をしているとみられます。活動内容は「学校の部活動、クラブ活動に参加している」が7割と突出しており、ほとんどの生徒が学校関連の活動をしています。以下「子ども会や町内会の地域イベント(運動会や盆踊り等)などに参加している」など、地域のイベントへの参加もみられます。

順位	クラブ活動や地域で活動していること(上位項目抜粋)	中・高校生(N=2277)
1位	学校の部活動、クラブ活動に参加している	70.3
2位	子ども会や町内会の地域イベント(運動会や盆踊り等)などに参加している	12.3
3位	学校外のクラブやサークルに参加している	6.5
4位	地域の清掃活動やリサイクル活動へ参加している	3.0
5位	伝統文化の保存活動などに参加している	2.2
	特に参加しているものはない	21.2

## 6. 今後参加してみたい地域活動

◇「今後、参加したいものはない」が過半数を占めていますが、「地域のスポーツやレクリエーション活動」「小さい子どもの集まるイベントなどのボランティア活動」「学校外のクラブ活動やサークル活動」などへの参加希望がみられます。

順位	今後参加してみたい地域活動(上位項目抜粋)	中・高校生(N=2277)
1位	地域のスポーツやレクリエーション活動	16.3
2位	小さい子どもの集まるイベントなどのボランティア活動	13.3
3位	学校外のクラブ活動やサークル活動	11.6
4位	環境保護活動やリサイクル活動	6.0
	今後、参加したいものはない	54.5

## 【4】日常生活での様子について

1. 携帯電話について	<p>◇携帯電話の所有率は、中高校生全体で 52.2%でした。高校生では 95.7%と大半が所持しています。また学年が上がるほど所有率も多くなる傾向にあります。</p> <p>◇携帯電話を所有している目的は「親やきょうだいとの連絡用のため」「友達と話やメールをするため」「緊急な連絡のため」などが主な理由です。</p> <p>◇携帯電話でいやな思いをした経験は「ない」が8割近くですが、2割近くは何らかのいやと思う経験をしたとみられ、「メールをほかの人に見られた」などがあがっています。</p>
2. パソコンの所有について	<p>◇パソコンを「持っている」が 50.4%、「持っていない」が 47.0%と大きく二分しています。</p> <p>◇パソコン所有者におけるインターネットの利用頻度は「週に1日以上(合計)」で、全体の6割以上(64.1%)を占めています。</p>
3. 喫煙について	<p>◇喫煙の経験については、「吸ったことがある」が中高校生全体のうち 4.7%みられました。</p> <p>◇喫煙経験者では、喫煙し始めた時期は「中学生」が 61.1%と最も多く、次に「小学生」の 30.6%が続きます。</p> <p>◇タバコの入手経路は、「知り合いに購入してもらう」「コンビニで購入する」に次いで「無断で親などのタバコを吸う」があがっています。</p>
4. 性感染症や避妊について	<p>◇性感染症の認知については「HIV感染症」が 78.2%と最も多く、以下「クラミジア感染症」(30.0%)、「性器ヘルペス」(25.1%)、「梅毒」(21.4%)と続きます。「いずれも知らない」が 18.6%であることから、8割以上の中・高校生は何らかの性感染症を認知しているとみられます。</p> <p>◇避妊方法については「学校の授業で習ったので、コンドームやピル(経口避妊薬)などは知っている」が最も多く、「避妊方法について、学習したことがないので知らない」が 26.0%、「学校の授業で習ったが、忘れたのでわからない」が 17.5%と合計で 43.5%がはっきり認知していないという結果でした。</p>

5. 薬物の害について	◇「タバコ」「覚せい剤」「酒」「大麻」「シンナー」の薬物の害については8割以上の生徒に認知されています。
6. いじめについて	◇いじめの経験は「周囲でいじめのことを聞いたことがある」が46.8%と最も多く、以下「いじめの経験はない」が33.4%、「いじめられた経験がある」が27.5%、「いじめた経験がある」が26.5%の内訳となっています。男子に比べ女子の方が「いじめた」あるいは「いじめられた」経験が中学生、高校生ともに多くみられます。

いじめの経験		中・高校生(N=2277)
いじめた経験がある		26.5
いじめられた経験がある		27.5
いじめの経験はない		33.4
周囲でいじめのことを聞いたことがある		46.8

## 【5】社会全般のことについて

1. 小さな子どもとふれあう機会	◇小さな子どもと「ふれあう機会はない」が41.9%であることから、何らかのふれあう機会を持つ生徒は6割程度とみられます。ふれあう機会としては「親戚の子どもと遊んだり、世話をしている」が最も多く、以下「学校の授業や行事でふれあう」「近所の子どもと遊んだり、世話をしている」「町内会や子ども会の活動でふれあう」などの順となっています。
------------------	---

順位	小さな子どもとふれあう機会	中・高校生(N=2277)
1位	親戚の子どもと遊んだり、世話をしている	27.8
2位	学校の授業や行事でふれあう	19.7
3位	近所の子どもと遊んだり、世話をしている	11.3
4位	自分に小学校に入る前の弟や妹がおり、一緒に遊んだり、世話をしている	9.0
5位	町内会や子ども会の活動でふれあう	7.5
6位	小さな子どもを含めたサークルやボランティア活動に参加して、遊んだり、世話をしている	3.5
	その他	2.6
	ふれあう機会はない	41.9

2. 家庭での子育てや家事について	◇家庭での子育てや家事については「男性・女性の区別無くできる人がやればよいと思う」が34.2%と最も多く、以下「女性の就労に関係なく、男性は積極的に家事や育児に参加した方がよいと思う」「男性が働き女性が家庭にいても、男性は家事や育児の手伝いをする方がよいと思う」と続きます。
-------------------	---

順位	家庭での子育てや家事について	中・高校生(N=2277)
1位	男性・女性の区別無くできる人がやればよいと思う	34.2
2位	女性の就労に関係なく、男性は積極的に家事や育児に参加した方がよいと思う	14.4
3位	男性が働き女性が家庭にいても、男性は家事や育児の手伝いをするほうがよいと思う	13.3
4位	男性が働き女性が家庭にいるなら、女性が家事や育児をしたほうがよいと思う	8.1
5位	共働きをしていますが、どちらかといえば女性がしたほうがよいと思う	5.1
	その他	0.9
	わからない	15.8

### 3. 悩みや不安の相談先

◇悩みや不安の相談先は「友だち」が71.2%と最も多く、「親」が42.8%で続きます。

順位	悩みや不安の相談先(上位項目抜粋)	中・高校生(N=2277)
1位	友だち	71.2
2位	親	42.8
3位	きょうだい	16.3
4位	先輩や後輩	13.2
5位	担任の先生	8.2

### 4. 青少年サポートはまだについて

◇青少年サポートはまだの認知状況は「名前を見聞きしたことがある」が18.2%、「利用したことがある」が0.6%の内訳で、合計2割程度が認知しています。利用希望については「利用しない」が69.2%と7割近くを占めるものの、「必要があれば利用したい」が27.7%、「ぜひ利用したい」が0.5%みられ、3割程度が利用を希望しています。

青少年サポートはまだの認知状況	中・高校生(N=2277)
利用したことがある	0.6
名前を見聞きしたことがある	18.2
知らない	79.1

青少年サポートはまだの利用希望	中・高校生(N=2277)
ぜひ利用したい	0.5
必要があれば利用したい	27.7
利用しない	69.2

### 5. 浜田市への永住意識

◇浜田市への永住意識については、「わからない」が34.0%みられますが、「機会があれば市外に出たい」が25.1%、「当分のあいだは住みたい」が14.3%、「今すぐにでも市外に出たい」が13.3%の順となっています。「これからもずっと住みたい」も10.8%みられます。学年が上がるほど「市外」への希望が増える傾向にあります。

浜田市への永住意識	中・高校生(N=2277)
これからもずっと住みたい	10.8
当分のあいだは住みたい	14.7
機会があれば市外に出たい	25.1
今すぐにでも市外に出たい	13.3
わからない	34.0

### 6. 将来の夢について

◇中高校生のおよそ8割が将来の「夢」を持っています。一方で「持っていない」が2割程度みられます。「具体的な夢」については、「中学3年生」で比較的多くみられます。

将来の夢について	中・高校生(N=2277)
具体的に夢を持っている	30.7
何となく夢を持っている	47.3
持っていない	19.7

## 7. 浜田市に期待するまちのイメージ

◇浜田市に期待するまちのイメージは「若い世代が自立できる就労先の確保ができるまち」が39.9%と最も多く、「いじめや不登校などをなくす応援をしてくれるまち」が39.6%でほぼ並んで続きます。以下「若い世代を対象としたイベントがたくさん開催されるまち」「若い世代が活動するときに使える施設がたくさんあるまち」「若い世代の意見がまちづくりに取り入れられるまち」などが期待されています。

順位	浜田市に期待するまちのイメージ	中・高校生(N=2277)
1位	若い世代が自立できる就労先の確保ができるまち	39.9
2位	いじめや不登校などをなくす応援をしてくれるまち	39.6
3位	若い世代を対象としたイベントがたくさん開催されるまち	36.0
4位	若い世代が活動するときに使える施設がたくさんあるまち	34.7
5位	若い世代の意見がまちづくりに取り入れられるまち	29.4
6位	若い世代も参加できるボランティア活動がさかんなまち	27.6
7位	若い世代が活動を計画・実行することを応援してくれるまち	23.0
8位	若い世代も参加できる町内会の活動が活発なまち	21.2
9位	市の取組や地域のことを若い世代にわかりやすく情報を提供するまち	17.3
	その他	6.0

## 調査結果（中学生の保護者／要約編）

### 【1】属性及び家族の状況

1. 続柄	◇保護者の続柄（アンケート回答者）は、「母親」が 84.8%、「父親」が 13.2%の内訳となっています。																							
2. 年齢	◇保護者の年齢は、対象が中学生保護者であることから「40 歳代」が6割以上で最も多く、「30 歳代」が2割で続き、両者で全体の大半9割近くを占めています。																							
3. 子どもの性別・学年	◇子どもの性別は、「男子」「女子」おおむね均等に分布し、子どもの学年は、「1年生」が 25.9%、「2年生」が 33.9%、「3年生」が 39.0%の内訳となっています。																							
4. 家族の状況	◇大半は「父母同居」で、「母子家庭」は 9.9%、「父子家庭」は 3.9%みられました。																							
5. 保護者の就労状況	◇母親の8割以上（※「就労している」の合計値）が現在就労しています（共働き世帯）。 <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保護者の就労状況</th> <th colspan="2">中学生保護者(N=1267)</th> </tr> <tr> <th>父親(%)</th> <th>母親(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就労している(フルタイム)</td> <td>85.1</td> <td>47.3</td> </tr> <tr> <td>就労している(フルタイムだが育休・介護休業中)</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>就労している(パート・アルバイト等)</td> <td>0.9</td> <td>34.5</td> </tr> <tr> <td>以前は就労していたが、現在は就労していない</td> <td>1.8</td> <td>10.8</td> </tr> <tr> <td>これまでに就労したことがない</td> <td>0.1</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>父親(母親)はいない</td> <td>6.6</td> <td>2.2</td> </tr> </tbody> </table>	保護者の就労状況	中学生保護者(N=1267)		父親(%)	母親(%)	就労している(フルタイム)	85.1	47.3	就労している(フルタイムだが育休・介護休業中)	0.2	0.2	就労している(パート・アルバイト等)	0.9	34.5	以前は就労していたが、現在は就労していない	1.8	10.8	これまでに就労したことがない	0.1	1.7	父親(母親)はいない	6.6	2.2
保護者の就労状況	中学生保護者(N=1267)																							
	父親(%)	母親(%)																						
就労している(フルタイム)	85.1	47.3																						
就労している(フルタイムだが育休・介護休業中)	0.2	0.2																						
就労している(パート・アルバイト等)	0.9	34.5																						
以前は就労していたが、現在は就労していない	1.8	10.8																						
これまでに就労したことがない	0.1	1.7																						
父親(母親)はいない	6.6	2.2																						

### 【2】子どもの日常生活などについて

1. 学習塾や習い事について	<p>◇学習塾や習い事については、「通わせていない」が過半数を占めています。「学習塾と習い事の両方に通わせている」は 9.5%、「学習塾に通わせている」が 26.8%、「習い事に通わせている」が 10.7%の内訳となっています。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%;"> <thead> <tr> <th>塾や習い事について</th> <th>中学生保護者(N=1267)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習塾と習い事の両方に通わせている</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>学習塾に通わせている</td> <td>26.8</td> </tr> <tr> <td>習い事に通わせている</td> <td>10.7</td> </tr> <tr> <td>通わせていない</td> <td>52.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇学習塾や習い事にかかる費用の負担については、「非常に負担になっている」が 20.0%、「やや負担になっている」が 58.4%の内訳で、両者合計して8割近く（78.4%）が負担を感じています。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%;"> <thead> <tr> <th>塾などの費用の家計における負担</th> <th>中学生保護者(n=595)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常に負担になっている</td> <td>13.6</td> </tr> <tr> <td>やや負担になっている</td> <td>39.8</td> </tr> <tr> <td>あまり負担ではない</td> <td>20.5</td> </tr> </tbody> </table>	塾や習い事について	中学生保護者(N=1267)	学習塾と習い事の両方に通わせている	9.5	学習塾に通わせている	26.8	習い事に通わせている	10.7	通わせていない	52.0	塾などの費用の家計における負担	中学生保護者(n=595)	非常に負担になっている	13.6	やや負担になっている	39.8	あまり負担ではない	20.5
塾や習い事について	中学生保護者(N=1267)																		
学習塾と習い事の両方に通わせている	9.5																		
学習塾に通わせている	26.8																		
習い事に通わせている	10.7																		
通わせていない	52.0																		
塾などの費用の家計における負担	中学生保護者(n=595)																		
非常に負担になっている	13.6																		
やや負担になっている	39.8																		
あまり負担ではない	20.5																		

<p>1. 学習塾や習い事について</p>	<p>◇学習塾や習い事に通わせていない理由については、「子どもが行きたがらないから」が3割と最も多く、「経済的な理由から」が2割%で続いています。</p> <table border="1" data-bbox="475 338 1378 591"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>塾などを利用していない理由</th> <th>中学生保護者(n=595)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>子どもが行きたがらないから</td> <td>32.5</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>経済的な理由から</td> <td>21.1</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>学校の授業だけで十分だから</td> <td>9.7</td> </tr> <tr> <td>4位</td> <td>成績が良いので必要がないから</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>10.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特に理由はない</td> <td>20.2</td> </tr> </tbody> </table>	順位	塾などを利用していない理由	中学生保護者(n=595)	1位	子どもが行きたがらないから	32.5	2位	経済的な理由から	21.1	3位	学校の授業だけで十分だから	9.7	4位	成績が良いので必要がないから	2.7		その他	10.5		特に理由はない	20.2								
順位	塾などを利用していない理由	中学生保護者(n=595)																												
1位	子どもが行きたがらないから	32.5																												
2位	経済的な理由から	21.1																												
3位	学校の授業だけで十分だから	9.7																												
4位	成績が良いので必要がないから	2.7																												
	その他	10.5																												
	特に理由はない	20.2																												
<p>2. 子どもと話をする時間</p>	<p>◇子どもと話をする時間については、「よく話をしている」が7割近くを占め最も多く、「時々話をしている」が続き、両者合計で大半（94.3%）を占め、おおむね日常的に子どもと会話しているとみられます。</p> <table border="1" data-bbox="512 757 1342 938"> <thead> <tr> <th>子どもと会話する時間</th> <th>中学生保護者(N=1267)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よく話をしている</td> <td>67.7</td> </tr> <tr> <td>時々話をしている</td> <td>26.6</td> </tr> <tr> <td>あまり話をする機会がない</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td>ほとんど口を聞かない</td> <td>0.4</td> </tr> </tbody> </table>	子どもと会話する時間	中学生保護者(N=1267)	よく話をしている	67.7	時々話をしている	26.6	あまり話をする機会がない	3.6	ほとんど口を聞かない	0.4																			
子どもと会話する時間	中学生保護者(N=1267)																													
よく話をしている	67.7																													
時々話をしている	26.6																													
あまり話をする機会がない	3.6																													
ほとんど口を聞かない	0.4																													
<p>3. 保護者の気持ちの理解度について</p>	<p>◇保護者の気持ちの理解度については、「よくわかってきている」が21.5%、「だいたいよくわかってきている」が65.2%で、両者合計で全体の9割近く（86.7%）を占め、おおむね気持ちが理解されていると認識されています。</p> <table border="1" data-bbox="512 1149 1342 1330"> <thead> <tr> <th>保護者の気持ちの理解度について</th> <th>中学生保護者(N=1267)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よくわかってきている</td> <td>21.5</td> </tr> <tr> <td>だいたいよくわかってきている</td> <td>65.2</td> </tr> <tr> <td>あまりわかってきていない</td> <td>11.0</td> </tr> <tr> <td>わかってきていない</td> <td>1.2</td> </tr> </tbody> </table>	保護者の気持ちの理解度について	中学生保護者(N=1267)	よくわかってきている	21.5	だいたいよくわかってきている	65.2	あまりわかってきていない	11.0	わかってきていない	1.2																			
保護者の気持ちの理解度について	中学生保護者(N=1267)																													
よくわかってきている	21.5																													
だいたいよくわかってきている	65.2																													
あまりわかってきていない	11.0																													
わかってきていない	1.2																													
<p>4. 子どもを虐待していると感じるとき</p>	<p>◇子どもを虐待していると感じるときについては、「ほとんどない」が8割以上と大半を占めていますが、「よくある」が0.3%、「時々ある」が13.9%みられました。保護者の年齢が若いほど、虐待をしていると感じることが相対的に多い傾向がみられます。</p> <table border="1" data-bbox="512 1552 1342 1693"> <thead> <tr> <th>虐待をしていると感じるときの有無</th> <th>中学生保護者(N=1267)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よくある</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>時々ある</td> <td>13.9</td> </tr> <tr> <td>ほとんどない</td> <td>83.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇虐待を感じる場面は、「子どもに感情的な言葉で怒るとき」「子どもを叱りすぎてしまうとき」が主流です。</p> <table border="1" data-bbox="475 1821 1378 2076"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>虐待を感じる時</th> <th>中学生保護者(n=180)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>子どもに感情的な言葉で怒るとき</td> <td>75.6</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>子どもを叱りすぎてしまうとき</td> <td>51.7</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>子どもに手をあげるとき</td> <td>9.4</td> </tr> <tr> <td>4位</td> <td>ほかの家族が子どもを怒っているとき</td> <td>6.1</td> </tr> <tr> <td>5位</td> <td>食事など子どもの世話をしないとき</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>1.7</td> </tr> </tbody> </table>	虐待をしていると感じるときの有無	中学生保護者(N=1267)	よくある	0.3	時々ある	13.9	ほとんどない	83.5	順位	虐待を感じる時	中学生保護者(n=180)	1位	子どもに感情的な言葉で怒るとき	75.6	2位	子どもを叱りすぎてしまうとき	51.7	3位	子どもに手をあげるとき	9.4	4位	ほかの家族が子どもを怒っているとき	6.1	5位	食事など子どもの世話をしないとき	1.7		その他	1.7
虐待をしていると感じるときの有無	中学生保護者(N=1267)																													
よくある	0.3																													
時々ある	13.9																													
ほとんどない	83.5																													
順位	虐待を感じる時	中学生保護者(n=180)																												
1位	子どもに感情的な言葉で怒るとき	75.6																												
2位	子どもを叱りすぎてしまうとき	51.7																												
3位	子どもに手をあげるとき	9.4																												
4位	ほかの家族が子どもを怒っているとき	6.1																												
5位	食事など子どもの世話をしないとき	1.7																												
	その他	1.7																												

### 【3】ひとり親家庭の状況について

#### 1. ひとり親家庭／仕事と家庭の両立のために希望すること

◇ひとり親家庭における仕事と家庭の両立のために希望することについては、「経済的負担を軽減するための手当等の支給制度を充実して欲しい」といった経済的支援が47.1%と最も多く主要な希望とされています。以下「教育にかかる費用の支援」「子どもの学習の支援制度等」などが求められています。

順位	ひとり親家庭／仕事と家庭の両立のために希望すること	中学生保護者(n=174)
1位	経済的負担を軽減するための手当等の支給制度を充実して欲しい	47.1
2位	教育にかかる費用を支援して欲しい	23.0
3位	子どもの学習を支援してもらえる制度等が欲しい	9.8
4位	家事負担を軽減するためのヘルパー派遣等のサービスを充実して欲しい	2.9
5位	公営住宅への優先入居など住宅支援を充実して欲しい	1.7
	その他	1.7

#### 2. ひとり親家庭／経済的負担軽減のために希望する制度等

◇ひとり親家庭における経済的負担軽減のために希望する制度等については、「ひとり親家庭への児童手当増額支給制度」が44.3%と最も多く、次いで「教育費用の負担軽減制度（部活動にかかる費用を含む）」が25.3%で続き、これらが主要な希望となっています。

順位	ひとり親家庭／経済的負担軽減のために希望する制度等	中学生保護者(n=174)
1位	ひとり親家庭への児童手当増額支給制度	44.3
2位	教育費用の負担軽減制度(部活動にかかる費用を含む)	25.3
3位	医療費の自己負担額軽減の制度	7.5
4位	学習支援のための費用補助や学習会等の開催等による支援制度	6.3
	その他	4.0

### 【4】日常生活の状況等について

#### 1. 子どもの携帯電話について

◇中学生の子どもに携帯電話を「持たせている」保護者は3割近くみられます。携帯電話を持たせている理由については、「主に親との連絡用として」が主要な理由となっており、持たせている保護者の過半数が「アクセス制限」をしています。

◇一方、携帯電話を持たせていない保護者における不都合等については、「全く不都合はない」が46.2%と多くを占めますが、「あれば便利と思うが持っていないなくても不都合はない」が34.0%、「不便さを感じるが中学生には不要と思う」が16.0%みられ、「今後、できれば持たせたい」は1.3%と僅かみみられました。

## 2. 子育てに関する悩みや不安の相談先

◇子育てに関する悩みや不安の相談先については、「配偶者・パートナー」をはじめ、「親族（親、兄弟など）」、「隣近所の人、地域の知人、友人」「職場の人」など、身近な人が中心となっています。

順位	子育てに関する悩みや不安の相談先	中学生保護者(N=1267)
1位	配偶者・パートナー	73.1
2位	その他の親族(親、兄弟など)	52.4
3位	隣近所の人、地域の知人、友人	39.1
4位	職場の人	31.6
5位	保育所、幼稚園、学校の保護者の仲間	28.2
6位	保育士、幼稚園の先生、学校の先生	22.0
7位	医師・看護師	2.5

## 3. 子育てに関して日常悩んでいること・気になること

◇子育てに関して日常悩んでいること・気になることについては、「教育費がかかりすぎる」という経済的要因が 27.0%と最も多く、次いで「子どもの教育に関すること」「反抗期についてのこと」「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」など、思春期の典型的な悩みが多く見受けられます。

順位	子育てに関して日常悩んでいること・気になること(上位項目抜粋)	中学生保護者(N=1267)
1位	教育費がかかりすぎる	27.0
2位	子どもの教育に関すること	24.9
3位	反抗期についてのこと	21.8
4位	友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること	21.5
5位	食事や栄養に関すること	11.5
6位	子どものおこづかいや携帯電話代などの金銭的な負担が重いこと	10.6
7位	子どもを叱りすぎているような気がする	9.9

## 4. 青少年サポートはまだについて

◇青少年サポートはまだの認知状況は「名前を見聞きしたことがある」が 48.4%、「利用したことがある」が 1.4%の内訳で、合計半数程度が認知しています。利用希望については「必要があれば利用したい」が 64.9%、「ぜひ利用したい」が 1.0%みられ、利用希望者は多くみられます。

青少年サポートはまだの認知状況	中学生保護者(N=1267)
利用したことがある	1.4
名前を見聞きしたことがある	48.4
知らない	49.7

青少年サポートはまだの利用希望	中学生保護者(N=1267)
ぜひ利用したい	1.0
必要があれば利用したい	64.9
利用しない	32.8

## 【5】地域での子育てや教育について

### 1. 地域における子どもを取り巻く環境について

◇子どもを取り巻く環境については、「子どもが少なくなっている」が6割以上と最も多く、次いで「子どもたちが外で遊んだり、自然とふれあう機会が少なくなっている」「子どもたちが利用できる施設が少ない」「社会規範やルールを守らない大人が増えてきている」などの順となっています。また3人に1人は「地域ぐるみで子どもに関わる機会が少なくなっている」と意識しています。

順位	子どもを取り巻く環境	中学生保護者(N=1267)
1位	子どもが少なくなっている	64.6
2位	子どもたちが外で遊んだり、自然とふれあう機会が少なくなっている	53.7
3位	子どもたちが利用できる施設が少ない	43.1
4位	社会規範やルールを守らない大人が増えてきている	34.4
5位	地域ぐるみで子どもに関わる機会が少なくなっている	28.4
6位	地域とのかかわりを避ける人たちが増えてきている	20.2
7位	家庭でのしつけや教育が不十分である	20.0
8位	隣近所の助け合いや地域の連帯意識が弱くなってきている	19.8
9位	子どもの健全育成について話し合う機会などが少ない	10.2
10位	学校と地域とのつながりが少なくなっている	9.4
	その他	2.1
	特に感じることはない	5.3

### 2. 子どもの健全育成のために参加したい活動等

◇子どもの健全育成のために参加したい活動等については、「特に参加したいものはない」が23.4%であることから、7割以上の保護者に何らかの参加希望（又は参加経験）があるとみられ、「子どもの体験活動やスポーツ、レクリエーション活動の指導や手伝い」が30.5%と最も多くなっています。次いで「あいさつ運動など地域の大人が手本を示す運動」「子どもの健全育成に関する講演会、研修会などへの参加」「学校や学校周辺の防犯、安全パトロール活動への参加」など、健全育成に対する意識は高いことがうかがえます。

順位	子どもの健全育成のために参加したい活動等	中学生保護者(N=1267)
1位	子どもの体験活動やスポーツ、レクリエーション活動の指導や手伝い	30.5
2位	あいさつ運動など地域の大人が手本を示す運動	26.8
3位	子どもの健全育成に関する講演会、研修会などへの参加	23.1
4位	学校や学校周辺の防犯、安全パトロール活動への参加	18.2
5位	街頭補導、巡回など非行防止のための活動への参加	7.7
6位	子どもの健全育成を進めている市民団体、グループへの参加	6.6
7位	子どもたちに有害な環境の調査や浄化活動への参加	5.1
	その他	2.9
	特に参加したいものはない(参加したことがあるものはない)	23.4

### 3. 浜田市に希望する子育て支援施策

◇浜田市に希望する子育て支援施策は、「子どもの学力の充実・向上」が半数程度で最も多く、「公園や広場など野外でのびのび遊べる場所の充実」「子どもの健康づくり・体力づくりの充実」が、それぞれほぼ並んで続いています。また「子どもの健全育成を担う人材の育成」や「開かれた学校運営など学校と地域の連携強化」など、地域との連携を求める意見も多くみられます。

順位	浜田市に希望する子育て支援施策	中学生保護者(N=1267)
1位	子どもの学力の充実・向上	48.4
2位	公園や広場など野外でのびのび遊べる場所の充実	47.9
3位	子どもの健康づくり・体力づくりの充実	43.3
4位	子どもの健全育成を担う人材の育成	22.4
5位	開かれた学校運営など学校と地域の連携強化	19.3
6位	子どもや親への情報提供や相談機能の充実	18.2
7位	街頭補導や巡回など青少年の非行の未然防止活動の充実	17.0
8位	子どもの健全育成に取り組むボランティア団体等への支援	12.5
9位	子どもへの暴力や虐待などの防止対策の充実	10.0
10位	家庭教育講座や子育て学級など親の学習機会の充実	8.5
11位	子どもたちの海外派遣や国際交流活動の充実	6.9
12位	多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮がほしい	5.9
	その他	4.3
	特に望むことはない	6.2